

第2学年 *組 国語科 学習指導案			
平成23年11月 *日(*)		第*校時 ** 教室 指導者 ** (T1), ** (T2)	
育成する国語の能力	ウ 文章に描かれた人物, 情景, 心情などを表現に即して読み味わうこと。		
単元目標	○ 古典文学に対する関心を深めようとする。 (関心・意欲・態度) ○ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。 (読む能力) ○ 古典文法, 語句, 時代背景等の知識を理解し, 身に付けることができる。 (知識・理解)		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	作品を読んで, 表現に込められている登場人物や時代背景に関心をもとうとしている。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	文や文章の組み立て, 語句の意味用法及び表記の仕方などを理解し, 語彙を豊かにしている。
取り上げる言語活動	作品中の和歌を自分の言葉で表現し, 絵手紙を作成する。		
題材 (教材)	伊勢物語第五段「通ひ路の関守」 第一学習社 高等学校改訂版標準古典		
<b>本 時 案 (第5時)</b>			
本時の目標	○ 作品中の登場人物の心情に関心をもとうとする。 (関心・意欲・態度) ○ 「通ひ路の関守」の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。 (読む能力)		
<b>学習活動</b>	<b>指導上の配慮事項など</b>		<b>評価・方法など</b>
前時までの学習内容を振り返る。	和歌の解釈について確認し, 本時の活動の手助けとする。		
和歌の役割について確認する。	和歌の解釈について, 生徒に発表させる。		
本時の目標を確認する。	教科書を使い確認させる。		
	本時の目標を板書する。		
<b>難しい和歌を, 素敵な恋文にしてみよう。</b>			
意識について理解する。	意識について説明し, 活動が円滑に進むよう留意する。		本文の流れに沿った意識を作成し, 絵手紙を書いている。 (読む能力) (評価方法) 机間指導の中で確認し, 授業終了後提出物を精査する。
本時の活動内容について理解する。	意識については, 『超訳百人一首うた恋い。』杉田圭 メディアファクトリーを参考に説明する。(T1)		
	2種類のプリントを配付する。(T2)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無地…絵手紙風にしたい場合</li> <li>・罫線あり…言葉重視の場合</li> </ul>           好きな方を生徒自身に選ばせる         </div>		
	手順ごとに時間制限も含めて説明することで, 計画的に作業に取り掛かれるよう配慮する。(T1)		
	T2が机間指導をしている間に, 作業手順を板書する。(T1)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           &lt;作業手順&gt;            ① 下書き用紙に意識を書く。(10分)            ② 本番用紙に意識と絵を描く。(10分)            ③ 各グループに分かれる。            ④ グループごとに鑑賞し, 発表作品を選定する。         </div>		

和歌の意識を完成させ、  
絵手紙の形でまとめる。

〈想定される質問〉

- ・三十一文字にする必要があるか。
- ・自分に置き換えてよいのか。
- ・時代は気にしなくてよいのか。

グループごとに鑑賞し合う。

グループの中で一番印象的だった作品をクラス全体に向け発表する。

他クラスの作品について鑑賞する。

絵手紙を提出する。

机間指導を行い、作業が進まない生徒に手助けを行う。(T1・T2)

作業が進まない生徒には、今興味をもっているものを引き出し、その内容に合わせてヒントを与える。

文字数や時代設定も気にする必要はないことを伝える。

絵手紙を右回りに回覧させる。  
絵手紙が完成していない生徒については、意識の内容のみで回覧させる。  
簡単な感想を伝え合うようにさせる。  
グループの中の代表作品を選ぶ。

本クラスの作品について総括し、良い点を褒めることで次回への意欲につなげる。(T2)

他クラスの優秀作品をまとめたプリントを配付し鑑賞させることで、生徒の文学に対する興味・関心が深まるよう留意する。(T1)

絵手紙を回収する。  
後日作品集にすることを伝える。  
完成していない者は後日提出する旨を伝える。(T2)

登場人物の心情について話合い、関心をもとうとしている。

(関心・意欲・態度)

〈評価方法〉プリントの内容を確認する。

人知れぬ わが通ひ路の関守は 宵々ごとに うちも寝ななむ

（訳）人知れず通う私の通い路に、関所をもうけて妨げる見張りの番人はどうか毎晩、ぐっすり眠ってしまったってほしいものだ。

《和歌の役割》

「男」の和歌は、「女」や屋敷の主人を感動させ心を動かししました。

ケータイもメールもない時代、自分の気持ちを相手に伝えるための情報ツールは和歌だったのです。

素晴らしい風景に感動したとき、

恋を始めたとき、

そして、大切なひとに思いを伝えたいとき。

そんなとき、昔の人々は和歌を詠みました。三十一文字の中にあふれる思いをこめて。

そこで・・・

わたしたちも、昔の貴族の気持ちになりきって、「女」に思いを伝えてみよう！

授業で学習した訳にとらわれず、なるべく自分の言葉で男の心情を綴り、それを絵手紙にしてみよう。

意味とは？・・・原文の一語一語にこだわらず、全体の意味に重点を置いて訳すこと。

↓裏面に意識と絵手紙の見本があるよ！